

第一回 学校運営協議会 記録

令和元年 5 月 28 日

1. 学校長挨拶

2. 委員紹介・出席者紹介・配布資料の確認

3. 事務局からの説明

- ・学校運営協議会の意義と役割について確認
- ・学校運営協議会要項について

4. 本校からの現状報告

(1) 前回（1月）以降の学校について

日本語指導が必要な帰国生徒の入学状況について説明
総合学科入学者選抜の近年の状況について説明

(2) 本年度の様子

体育祭が近づいており 1 年から 3 年までが学年を越えて助け合い、支えあって練習に励んでいる。

<オアシスの様子>

- ・言葉、学習面をサポート
- ・新入生歓迎会を開催
- ・高校生交流会に参加、他校生徒の良い交流の機会となった
- ・体育祭後は地下鉄ボランティア等にも参加予定

<学年の様子>

1 学年 4 月に滋賀県で宿泊学習を実施

2 学年

3 学年

(3) 当面の行事について

7 月 2 学年・・・修学旅行 2 泊民泊予定

8 月 オーストラリアスタディー実施予定

(4) 令和元年度重点目標について

学習指導部・・・○分掌の安定した運営

- ・ミスの事前防止を徹底していきたい
- ・科目選択についてはガイダンスと共に将来を意識させながら実施していきたい
- ・新しい選択科目についての検討
- ・学習支援業務の充実

○学習支援業務の充実

- ・プロジェクターの使用を促進させたい
- ・デジタルサイネージを有効的に活用させたい
- ・図書貸し出し件数を増加させたい

保健指導担当・・・○生徒自身が自分の体のことに目を向けられるように検診の受診を工夫していきたい

○清掃活動に力を入れたい

○避難訓練

○要配慮生徒の情報を共有し具体的な対応の研修を実施
(今年度はエピペンの講習会を行った)

○昼休みの教育相談の充実

(SC SSW の活用、精神科医による面談等)

人権教育担当・・・○週一回生徒の情報交換を行っている

○各学年で行う人権プログラムの共有

○生徒の情報共有

○昨年度から養護教諭も参加してうまくいっている

○今年度は有効な生徒情報を学年会へ降ろしていきたい

○小一高、中一高連携、出前授業や本校に来てもらい体験授業を実施する等の連携を行っている

○中学校と生徒の情報のやり取りを引き続き行っていく

(5) 令和元年度学校経営計画について

- ・カリキュラムマネジメント推進体制の確立
- ・生徒が安心して通える学校環境作り
- ・社会の扉の再編、課題研究の充実
- ・人権尊重の学校づくり
- ・地域との連携を深めていきたい

基本データについて

- ・志願者の倍率が高かった
- ・長欠生徒が増えているのでその対応について考えていきたい
- ・進路について資料のとおり
- ・生徒のルーツの多様化、個別の対応が課題
- ・入学者について八尾市より、東大阪市からの入学生が増えた（資料のとおり）
- ・遅刻について増えているデータについては資料のとおり
- ・37期進路アンケート結果について
- ・中学3年2学期が高校を決める人数が一番多い。
体験等もっと力を入れていきたい

5. 協議

「本校が取り組むべき課題～八尾北が今後目指すべき教育の方向性～」について

議 長：各学年の様子を聞いたうえで協議へ移りたい

1 学年主任：1学年の目標は「傾聴し考えて行動できる人であれ」

傾聴をテーマに社会への扉で取り組んできた成果が今のところである

2 学年主任：36期の目標は「語る人になれ」

自信をつけて成功体験を積んでいくことが必要だと感じている

1年次、男子生徒を中心にSNSに悪ふざけの動画をアップしたことがある。

その点が今後も心配している。

また、人間関係を作るのが下手な生徒が多いように感じている。個々の能力は高いものの人間関係作りがしんどい生徒が多い。

3 学年主任：楽しく登校で来ている生徒が多い。

嘘をつかない生徒との信頼関係作り

体育祭にむけ、それぞれが頑張っている。体育祭の後は進路に向けそれぞれが頑張りたいと考えている。

議 長：生徒の様子を聞いた上での考えを委員に伺いたい。

委 員 A：「八尾北高校の特性を活かす」というキーワードが思い浮かんだ。

八尾市からの生徒が減り、東大阪市からの生徒が増えたのは学区制の廃止との関係は何かあるのか。

- 教 頭：関係はない。その理由はわからない。
- 委 員：生徒の特性の変化を感じたことはあるか
- 教 頭：八尾市で開催された高校生が参加する会議では東大阪市出身の生徒が活発に意見を出していたことがあった。
- 委 員 A：総合学科は面白いと感じている。それがもっと多くの人に共有されれば良いと感じている。
- 委 員 B：多文化は特性。多言語化が進む中、その影響が数年後、高校に更に現れてくると予想される。
今後はどのように対応していくか考えていく必要がある。
定時制高校においては多言語化が進んでいる。
- 委 員 A：他校と比較して八尾北高校はどのように感じるか。
- 委 員 B：今まで中国ルーツの生徒が多かったことも関係しているのか、とても丁寧に指導されている印象。
- 教 頭：中国ルーツ以外の文化圏の文化の差に対応していく部分は手探り状態である。
- 議 長：Cさんはどのようにお考えか。
- 委 員 C：31期生として息子が通っていた。中学生では音楽をしたいという目標だけをもっていた。その後、体験入学に参加したことが決め手となり八尾北高校を志望した。
兄の楽しそうな姿を見て、妹も志望し入学した。
保護者目線からすると入学前に高校の情報がもっと欲しい。私学の説明会のほうが楽しく感じる。
- 委 員 D：子ども達の様子を見て考えていく必要があると感じた。
人間関係を構築する力、物事に対応できる力が必要。
人権意識を根本にそれを取りまく教科などは意識される必要がある。
基本データによると、家庭環境がしんどい生徒が多いと感じた。遅刻数とも

関係があるだろう。

貧困が本人の頑張れる力と関係している。頑張れる力は授業だけでは伸ばすのは難しいとされる。頑張る力には日々の・・・(積み重ねが大切?)

議 長：各委員から

- ・多様性を大切にすることが今後も重要。
- ・オアシスの取り組みは引き続き大切にしていく。
- ・保護者から子どもの様子を教えてもらうことができた、
また、学校情報をいかに保護者へ説明していくかについて提言をいただいた。
- ・中期的目標を今後どれだけ意識していけるかが重要。
以上のようなご意見をいただいた。

学校経営計画の中期的目標の中に重要な項目が含まれていると思うので、
今後も地震を持って取り組んでいかれるとよいと思った。

協議終了

教 頭：現在、6項目「英語教育」「福祉」「社会への扉」「資格取得」「グローバル教育」
「学習保障」) について検討中。
今後またこの項目に関してご意見いただきたい。

6. 次回以降の学校運営協議会について

第2回 予定 11月6日(水) 14:00~16:00

第3回 予定 2月5日(水) 14:00~16:00